

臥龍山安立行旗 結願のお知らせ



御信徒各位

早春の候 御信徒各位におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。昨年の臥龍山龍神祭に皆様からお申し込み頂きました「臥龍山安立行旗」の祈願が来る4月23日をもって結願となりますのでご案内申し上げます。

教祖杉山辰子先生は昭和3年阿久比お辰新田脇に祠堂を設けられ、安立行大菩薩の守護神として龍神をお祀りになられました。阿久比聖地に遷座した臥龍山龍王殿は教祖ご在世当時の祠堂を新改築したものであり、従って我々と杉山教祖を直接結び付ける証と言っても過言ではありません。我々は、安立行大菩薩の眷属としての自覚をもって日々誠実に教えを実行し、教祖ご招来の龍神に祈りを捧げる時には、必ず妙不可思議な功德を得られることを確信するものであり、この一年間安立行旗によって祈願された方々におかれましても大願成就を果たされたことと存じます。願わくは臥龍山龍王殿参拝の功德を一人でも多くの方にご体験して頂く為、ご家族・ご友人の方々に安立行旗による祈願をご推奨下さる様お願い申し上げます。

今年は開教110周年、聖仏舍利奉迎50周年の大きな節目の年。大乘教が新しく生まれ変わる為の第一歩を踏み出す年であります。5月の開教110周年記念式典を機に、教団の宝・聖仏舍利を靈山安立廟に御分祀し、いよいよ令和未来プロジェクト（大乘教本仏殿等令和大改修事業）を正式に始動いたします。

その大きな節目を前に3月18日、臥龍山安立大菩薩僧台座下に、教祖杉山辰子先生、歴代管長、先師の御遺骨をお納め致しました。コロナ禍により2年間延期されていた納骨がようやく完了し、大菩薩は名実共に教団の一大シンボル、我々大乘教信徒の守護神として完成したのであります。

末法悪世が深まった現在、我々はコロナ禍、ウクライナ戦争、自然災害、急激なインフレによる経済不安等、様々な困難に直面しています。しかしもはや我々は立ち止まることは許されません。今こそ教祖杉山辰子先生や大乘教の先師がそれぞれ時代を先取りする積極性をもって困難を乗り越え、妙法広宣流布に邁進された姿を良き手本とし、我々も常に教団を未来へ前進させる精神、すなわち“安立行で時代を拓く”気概をもって精進致しましょう。さすれば御本佛、教祖様そして先師の御守護を必ずや頂戴出来るのであります。

合掌

令和5年3月吉日

大乘教管長 杉崎法教

* 令和5年4月23日の龍神祭当日、結願を迎えた皆様の安立行旗のお焚き上げを執行いたします。